

2024 年度 JAC セミナー

● テーマ「認定：明日を導き、未来を形づくる」

日本認定機関協議会（JAC）では、広報活動の一環として、JAC セミナーを開催いたします。

・ JAC メンバーの加盟している国際認定フォーラム(IAF)と国際試験所認定協力機構(ILAC)は、「認定」の重要性を、より多くの方々に知ってもらう取り組みとして6月9日を「世界認定推進の日」(World Accreditation Day)と定め、毎年様々な認定に関わる社会的テーマに沿った広報活動を展開しています。今年のテーマは“認定：明日を導き、未来を形づくる”(Accreditation: Empowering Tomorrow and Shaping the Future)です。

本年度のセミナープログラムもこれに沿った、認定：明日を導き、未来を形づくる をテーマに、ご紹介いたします。

皆様のご参加をお待ちしています。

- セミナープログラム：(本頁下よりご覧ください)
- 日 時： 2024年 **10月 25日** (金) 13：00～16：30
- 会 場： オンラインセミナーにて実施

※申込者に後日詳細をご連絡します。

- 定 員： 400名 **※参加費無料**
- お申込み： [JACホームページ](#) [セミナー受付ページ](#)
- 主 催： 日本認定機関協議会 (JAC*1)
*1 詳しくは、最終頁「JACとは」をご覧ください。
- お問合せ先： 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE) 認定センター(IAJapan)
E-mail: jac@nite.go.jp

セミナープログラム

13:00～13:05	開会挨拶：公益財団法人日本適合性認定協会（JAB） 代表理事 専務理事 森内 譲
13:05～13:30 (25分) 【基調講演】	講演者：経済産業省 イノベーション・環境局 基準認証政策課 課長補佐 吉成 崇宏 様 演 題：基準認証政策における認証産業の役割と期待 概 要：海外市場への参入・適合やグローバル市場の創出において認証分野の重要性がこれまで以上に高まっています。経済産業省では2023年12月に「認証産業活用の在り方検討会」を設置し、認証機関・認定機関・支援機関と産業界の共通課題の解決に向けた議論を進めています。
	

13:30～14:30 (60分) 【講演1】	講演者：独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター (IAJapan) 公益財団法人日本適合性認定協会 (JAB)	
	演 題：JAC の概要と活動のご紹介 メンバー認定機関からの情報提供	
	概 要：近年多様化する適合性評価に関する課題に対して、日本認定機関協議会 (JAC) は、国内認定機関で協力し、国内での取り組みを進めています。本講演では、JAC の概要や戦略的な活動を各メンバー機関からのトピックを交えて紹介するとともに、講演 2 以降にもつながる話題を提供いたします。	
14:30～14:40	質疑応答	
14:40～14:55	休憩	
14:55～15:20 (25分) 【講演2】	講演者：一般社団法人セルフケアフード協議会 代表理事 山本 万里 様	
	演 題：食による健康長寿社会の実現を目指す～G-Plus食品の認証～	
概 要：我が国では「健康機能性」等を探索する研究が盛んに進められており、様々な農産物・食品の健康機能性が解明されてきました。ここでは、農林水産省関連の民間認証制度を活用した健康維持増進のためのG-Plus食品の認証の仕組みを紹介します。		
15:20～15:25	質疑応答	
15:25～15:50 (25分) 【講演3】	講演者：一般財団法人日本品質保証機構 (JQA) 安全電磁センター試験部サイバーセキュリティ課 藤田 悠平 様	
	演 題：サイバーセキュリティの概要と適合性評価標準	
	概 要：OT (Operational Technology) とIT (Information Technology) の融合は、製造業や社会インフラの分野で大きな変革をもたらしています。この融合により、物理的なシステムとデジタル技術がシームレスに連携し、効率性や生産性の向上が期待されています。DXを推進し、「Lighthouse (灯台)」と呼ばれる先進的な工場が登場すると同時に、サイバーセキュリティのリスクも増加しています。本講演では、いち早くサイバーセキュリティ規制の導入を進めているEUの話題を中心に、最新の規制動向と規格の概要についてご紹介します。	
15:50～15:55	質疑応答	
15:55～16:20 (25分) 【講演4】	講演者：国立研究開発法人産業技術総合研究所(AIST) 情報・人間工学領域 連携推進室 チーフ連携オフィサー 杉村 領一 様	
	演 題：ISO/IEC 42001に基づく新たな適合性評価への期待	
概 要：2023年12月に、責任あるAIシステムの開発や提供、利用をするために組織が順守すべき要求事項を定めた「ISO/IEC 42001 (AIマネジメントシステム、AIMS)」が発行されました。また、AIMSの審査機関向けの要求事項を定めた国際標準規格ISO/IEC 42006 もまもなく発行されます。ISO/IEC 42001に基づく新たな適合性評価への期待について、国際標準化の動向等を交えてご紹介します。		
16:20～16:25	質疑応答	
16:25～16:30	閉会挨拶：独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター (IAJapan)	
16:30	終了	

* 上記プログラムの講演題目・内容は変更することがあります。予めご了承ください。

日本認定機関協議会(JAC)とは

日本認定機関協議会(Japan Accreditation Council: JAC)は、我が国全体として、認定機関の信頼性と技術レベルの向上を図るとともに、日本の適合性評価制度全体の信頼性・透明性の向上に寄与することを目的に、認定制度の啓発・普及活動のために必要な活動を行っています。現在は以下の5機関で構成されています。



株式会社電磁環境試験所認定センター
(VLAC)

<https://www.vlac.co.jp/>



独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター
(IAJapan)

<https://www.nite.go.jp/iajapan/>



公益財団法人日本適合性認定協会
(JAB)

<https://www.jab.or.jp/>



一般社団法人情報マネジメントシステム
認定センター (ISMS-AC)

<https://isms.jp/>



独立行政法人農林水産消費安全技術センター
認定センター (FAMIC/JASaff)

<http://www.famic.go.jp/jasaff/>